

紙管業 10μmの極薄両面テープを拡販

日本紙管工業 粘着剤単一でフィルムの段差痕軽減

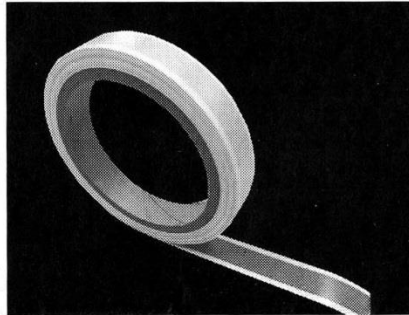
日本紙管工業（大阪市旭区、☎06・6952・0674）は、フィルムなどの紙管への巻き出し用として、PETフィルムなどの基材を省いた粘着剤単一の「極薄両面テープ」の拡販を進めている。

従来品の約半分となる厚さ10μmを実現し、段差痕を軽減する製品として実績が拡大している。

同製品は、PETフィルムなど一般の両面テープに使用される基材を一切使用せず、粘着剤と上紙の剥離紙のみで構成された両面テープであり、粘着剤の厚みが10μmと従来品の両面テープより厚さが格段に薄くなっている。

従来製品は、PETなど10μm程度の基材の両面に粘着剤を塗布しており、約20μmの厚みとなった。これに対して、同製品は粘着剤のみの10μm程度となっている。このよう

き取る製品への段差痕を軽減することに成功した。
使用方法は、紙管に両面テープを貼り付け、上の剥離紙を剥がすのみ。



紙管への巻出用「極薄両面テープ」

フィルムや金属箔の巻き出し、ラミネート工程などにも応用可能。両面テープ単体での販売も行っている。規格は幅12mmと24mmの2タイプ

を用意。色は赤色、長さ50〜100mmとなっている。製造は専門メーカーに委託しているが、販売実績は国内はもとよりEUなど海外にも拡大しつつある。同社では「市場となるフィルムなどは包装・工業分野とも一段と薄膜化しており、段差痕を軽減する極薄両面テープへのニーズは強い。ドイツなど海外でも動きがあり、展開をさらに強めていきたい」としている。